

過去のちっぷろぐ(平成25年10月～12月)

町のイメージキャラクター「チーベルくん」 登場



平成 25 年 10 月 01 日

秩父別町のイメージキャラクター「チーベルくん」の着ぐるみがこの程完成し、この日役場でお披露目されました。

開基百年（平成6年）に一般公募で誕生した「チーベルくん」ですが、その当時とは少し模様変わりを行い、胸にはバラのプリントが入り、ズボンは特産ブロッコリーの緑色にして全身が秩父別カラーとなりました。

6日に行われる「秩父別産新米普及マラソン大会」がデビューとあって、この日は神薮武町長と大会のPRも兼ねて行いました。

親子でローズガーデン散策しました 1



平成 25 年 10 月 02 日

10月2日（水）、子育てサロンに参加する親子が、ローズガーデンや冒険の森周辺へ散策

にいきました。

冒険の森に流れるせせらぎでは、日本ザリガニやカナヘビなどの多くの生き物を見つけた子どもたちは、不思議そうに観察していました。

ローズガーデンの見ごろは過ぎましたが、まだ多くのバラが咲いています（今年は10月6日まで開園しています）。

自然豊かな“ちっぷべつ”へ、ぜひ遊びに来てくださいね。



ローズガーデンで、珍しいものを発見しました!?

自然界は不思議なことがいっぱいですね。

秩父別中学校 思春期教室



平成 25 年 10 月 04 日

10月2日（水）に中学3年生を対象に思春期教室を行いました。

妊婦さんや赤ちゃんのお母さんにお話を聞いたり、実際に赤ちゃんをだっこさせてもらい、“い

のちの大切さ”について感じ学びました。
写真は妊婦さんのお腹を触らせてもらい、胎動を感じているところです。小さい命がお母さんやお父さんに守られて成長しているのを生徒たちも感じる事が出来たのではないのでしょうか。



赤ちゃんが泣かないように抱っこするのは最初はぎこちなかったですが、あやしたり、抱き方を工夫したりと頑張っていました。赤ちゃんをだっこしたり、あやしている優しいまなざしが印象的でした。



小さい子が絵本に興味を持つように読むのが難しかったようですが、読み方やジェスチャーなどを取り入れながら頑張っていました。子どもが絵本に見入っている様子がわかりますね。



最後は、授業のまとめの時間です。
今回体験した事の感想などをまとめました。生徒たちからは「大切に育てられているとわかった」「お腹をけているのを感じて命があると感じた」など、実際にお話や体験する事によって感じ、色々なことを考えたようでした。みんな真剣に考えていますね。

今回の体験を通して、「命の大切さ」や「親になるためには責任が必要なこと」などを感じ、考える機会となったと思います。

第2回秩父別産新米普及マラソン大会



平成 25 年 10 月 08 日

10月6日(日)、ローズガーデンちっぷべつを発着点として、「第2回秩父別産新米普及マラソン大会」が開催されました。

当日は、秋晴れの暖かい気候の中、全道各地から843名のランナー集い、健脚を競いあいました。

レース終了後には、秩父別産の新米「ゆめぴりか」で作ったおにぎりが配られ、口いっぱい

に頬張る姿が会場のあちこちで見受けられました。

第13回アキグミ収穫祭



平成25年10月10日

10月9日(水)に町内の旧土取り場で、今年で13回目となるアキグミ収穫祭が行われました。毎年この時期にちっぷっ子ふれあいスクールの児童を対象に行っています。

今年のグミは豊作で、児童は楽しそうにたくさんグミを収穫していました。中には収穫したグミをその場で食べている児童もいました。

なつみの里感謝祭開催!



平成25年10月15日

10月13日、「田舎の親戚」主催による環境整備と「感謝祭」が、なつみの里で開催されました。

感謝祭では、この日参加者がついたお餅と、利用者が丹精込めて作った野菜を使った料理などが振る舞われ、今年1年なつみの里での生活

を振り返り、思い出話に花を咲かせていました。

また、後半には田舎の親戚から新米などの抽選会が開催されるほか、今年はなんと利用者からのサプライズとして、田舎の親戚の皆さんへ利用者が作った手編みのペットボトルケースやハンガー掛けなどを送るなど、楽しいひと時を過ごしました。



【利用者による餅つきの様子】



【利用者が用意してくれた料理の数々】



【田舎の親戚から新米のプレゼント】

フットパス開催！



平成 25 年 10 月 16 日

10月14日（祝）に「まちづくり協働隊」（峠代表）主催によるフットパスが開催されました。

昨年に続き2回目となる今年は、町内フットパスコース（約9km）を完歩。

透き通る秋晴れの向こうにあった、暑寒別岳の頂は既に雪化粧でした。

コース途中、市民農園利用者の方々の飲物サービスを受けたり、赤く輝く小さな山リンゴを頼張ったり、人や大地の「おもてなし」を受けながら、とても充実したフットパス活動になりました。

最後には、とれたて新鮮な「ブロッコリー」を参加された皆様にお土産としてお渡しし、思いがけないプレゼントに参加者全員が笑顔で喜んでいただきました。

平成25年産新米試食会開催



平成 25 年 10 月 16 日

10月15日（火）、農業委員会主催の新米試食会が開催され、農業委員、空知農業改良普及センター北空知支所職員ら27名が出席されました。

最初に、主催する造田聡 農業委員会会長が「今年度で3回目の試食会ですが、3回とも豊作の年に開催できて嬉しいです」と挨拶し、続いて、空知農業改良普及センター北空知支所から、今年産米の生育状況の説明がありました。

試食会は、昨年度4品種のお米の食べ比べを行いました。今年度は美味しさの基準である「たんぱく質含有量」が違う2つの「ゆめぴりか」の比較試食を行いました。

（たんぱく質含有量の数値が低いほど、美味しいお米と言われています）

秩父別中学校3年生の2人が役場で職場体験



平成 25 年 10 月 17 日

秩父別中学校3年生の大橋美斗さんと三浦結生さんの2人が、10月16日・17日の2日間、役場で職場体験を行いました。

職場体験を通じて2人の感想を紹介いたしません。

秩父別中学校 3年大橋美斗

今回秩父別町役場で2日間職場体験をさせていただきました。僕は最初、役場はパソコンを使った事務の仕事をしているところだと思っていました。でも今回職場体験をして秩父別町役場で

はパソコンを使った事務の仕事だけではなく、電池の分別をしていたり、福祉など人との関わりがとて多い仕事でびっくりしました。1日目は、電池の分別をしました。電池の分別は、電池がとて多く大変でした。福祉では、除雪サービスについての話を聞くため一軒一軒家をまわり、写真を撮って資料を作り、その資料を使って説明するのがとて大変でした。2日目は、福祉の行事の手伝いをしました。高齢者と一緒に体操をしてみて、こんな体験はほとんどないのでとていい体験ができました。昼食には、ボランティアの人達が赤飯を作ってくれてとておいしかったです。2日間という短い時間でしたが体験したひとつひとつが初めての体験で、とて勉強になり将来に役立てたいと思います。2日間とていい体験が出来ました。ありがとうございました。

秩父別中学校 3年三浦結生

私は、今回の職場体験でいろいろな体験をすることができました。最初に役場はどのような事をしているのか教えていただいた後、さっそく仕事を体験しました。最初に、乾電池の仕分けをしました。私はこんな仕事も役場であるのかと、とて驚きました。二日目は福祉の行事の手伝いをして、とて楽しかったです。役場の職員方みなさんがとて優しく教えてくださったので仕事もスムーズにできました。二日間役場で職場体験をさせていただいて、たくさんのことを学ぶことができました。私は役場の仕事は書類を作ったりパソコンを操作したりするものばかりだと思っていましたが、そういう仕事以外にも秩父別町民をしっかり支えられるように役場ではたくさんの方が働いているんだなと、思いました。私も将来秩父別町の役場で働いてみたいです。二日間ありがとうございました。

「秩父別町高齢者等見守り協議会」発足



平成 25 年 10 月 25 日

10月23日、役場にて第1回「秩父別町高齢者等見守り協議会」が開催され、今年度より秩父別町の高齢者の孤立死予防対策に取り組んでいきます。協議会委員は17名で、会長となる町長より委嘱状が手渡されました。(町内会、老人クラブ、民生委員、JA北いぶき、郵便局等の町内各団体や高齢者宅に配達業務等を行っている事業所)

今後は、北海道の補助を受けた住民参加型の事業として、高齢者本人や家族・ご近所の自助・共助を基本とし、周りでどのようにサポートして行くか、協議会が中心となり町と町民、秩父別町社会福祉協議会、関係機関等が協力・話し合いをして、孤立しない方法を考えていきます。見守る側、見守られる側両方の意見と理解を大事に進めていきたいと考えています。

講演会「遺品整理の現場から学ぶ」が開催されました。



平成 25 年 10 月 29 日

10月28日（月）、秩父別町高齢者等見守り協議会主催の講演会が交流会館で開催され、町内外から100名の方が聴講されました。

講師には、遺品整理業キーパーズ（有）の代表取締役である吉田太一氏を迎え、「遺品整理の現場から学ぶ」と題し、近年増えてきた孤立死の問題、生きがいを持って一人で生きていく考え方や、地域で孤立しない生き方のアドバイス等、貴重なお話をユーモアあふれる語り口でお話いただき、参加された皆さんも真剣に聴き入っていました。

ちなみに2011年に公開された「さだまさし」さん原作の映画『アントキノイノチ』の完全モデルとなったのがキーパーズです。

ご当地給食が開催されました。



平成 25 年 10 月 30 日

10月28日、29日にちつぶつ緑のナポリタン推進協議会主催による「ご当地給食」が秩父別町の小中学校でそれぞれ開催されました。

当日は、推進協議会の会員およびサポーターが直接各学校へ訪問し、「ちつぶつ緑のナポリタン」を調理、ご飯の代わりに「ミドナポ」がイベント形式で提供しました。

初めて食べる生徒も多く、「おいしかった」「また食べたい」などの声が多く聞こえました。写真は、中学校の様子です。



平成 25 年 10 月 30 日

こちらは、29日に開催された小学校の様子です。

第40回秩父別町総合文化祭



平成 25 年 11 月 13 日

11月2・3日に第40回秩父別町総合文化祭がファミリースポーツセンターにて開催されました。

展示会場では、陶芸や写真、書道など町文化連盟加入団体の素晴らしい作品が多数展示され、来場者は熱心に見入っていました。

3日午前には中学校吹奏楽部演奏やピアノ発表、午後からはダンスやカラオケなどの芸能発表が行われ、客席からは大きな拍手がおこっていました。

また、バザー会場（食堂）では、今年もボランティアグループ「えがおの会」がおいしいうどん・そば・おしるこを提供してくれました。

写真は、芸能発表会「フラダンスサークル ロケラニ」の様子～優雅な動きです。



芸能発表会「ちくし神楽獅子」～昨年から子ども達中心のメンバーです

「ちくし神楽獅子舞」のルーツを探して今年2月香川県観音寺市を訪問交流した時の報告も行いました。



文化展示会場「写真・フラワーアレンジメント・小中学校作品他」

みなさん、興味深げに見学されていました。



「囲碁会」

短歌会・俳句会・川柳会・囲碁会も開催されました。

「北海道暮らしフェア 東京会場」が開催されます



平成 25 年 11 月 14 日

11月16日（土）に東京で開催される「北海道暮らしフェア」に本町も参加します。交流体験農園「なつみの里」や定住促進団地（1㎡＝1円）をはじめとする移住定住支援はもとより、福祉や子育て支援の充実した取組を、北海道への完全移住や、2地域居住を求める皆様にPRできる絶好の機会です。

東京近郊にお住まいの方で移住を検討されている皆様のお越しを心よりお待ちしております。

日時：11月16日（土） 10：00～16：00

場所：東京都台東区花川戸 2-6-5

東京都立貿易センター台東館 5階展示室

高齢者等見守りに関する住民意見交換会



11月27日（水）秩父別町老人福祉センターで、高齢者の見守り対策について各地区の住民17名にお集まりいただき、5～6人のグループに分かれて、各地域の高齢者に関する現状や検討が必要な課題について話し合いながらご意見をお聞きしました。各地区共に一人暮らしの高齢者の安全対策については関心が高く、ご近所や自分の将来も含めて様々な意見が出されました。

12月、1月にも継続して、具体的な対策や地域での取り組み方について引き続きご意見をお聞きしていきます。

冬のイルミネーション



平成 25 年 12 月 09 日

秩父別町では冬の景観を彩るイルミネーションの設置を、町有志や町内の商店などで行っています。今年も町内各所において見ることができます。

写真はほんの一部ですが、どこに設置してあるでしょうか。是非探してみてください。

交通安全研修会開催



平成 25 年 12 月 11 日

12月11日、役場講堂で、除雪作業従事者交通安全研修会を開催しました。

深川警察署交通課長を講師にお迎えし、大型車両を運転する人が、常に気を使わなければならないことや、除排雪作業中の運転手及び誘導員の注意事項をご指導いただきました。

また、近年は局地的な豪雪や猛吹雪も多発しております。荒天時には除雪機械も出動できませんので、往復の距離・時間等を考慮し、外出を控えるようにしましょう。

気分はもうクリスマス♪



平成 25 年 12 月 11 日

「クリスマスをみんなで楽しんで欲しい」と町内の鉢花販売業の「天野ファーム（代表 天野正一さん）」が、認定こども園、小・中学校、和敬園、役場の5施設に原木を貸し出してくれました。

今回、役場に貸し出しされたのは、モミの木は高さ約2m50cmもある立派なもので、職員によって飾りつけが行われ、正面玄関入口辺りに設置、日が暮れてくるとライトも点灯され、一層クリスマスらしい雰囲気醸し出しています。

ツリーはクリスマスまで飾ってありますので、是非一度ご覧になってください。

サンタがべにばらにやってきた！！



平成 25 年 12 月 25 日

グループホームべにばらでクリスマス会が行われました。

会場にはツリーや飾り付けが施され、クリスマスムードいっぱいの中、サンタの格好をしたチーベル君が現れ、利用者一人ずつにプレゼントを手渡しました。

利用者らはとても嬉しい表情でプレゼントを受け取ると、チーベル君と握手をする方もいて、とても人気者のチーベル君でした。

その後、「チーベル君との写真撮影」や「じゃんけん大会」も行われ、全員でクリスマスソングを歌ったりして、クリスマスを楽しんでいました。

高齢者等見守りに関する住民意見交換会



平成 25 年 12 月 27 日

12月25日（水）秩父別町老人福祉センターで、第2回目の「高齢者の見守りに関する住民意見交換会」を行いました。

前回に引き続いて各地区の住民17名にお集まりいただき、3グループに分かれて一人暮らしの高齢者を安全に見守るための方法について、様々な意見が出されました。

自分が「見守る立場」「見守られる立場」としてどんな方法がよいか、日頃からの声かけや交流で信頼関係を深め互いに助けあうことや、何事も感謝の気持ちを持って接することなどの大切さを再確認しました。

1月にはさらに具体的な対策や、地域での取り組み方について引き続きご意見をお聞きしていきます。

年の瀬となりました



平成 25 年 12 月 30 日

役場は本日で仕事納めです。

今年は昨年、一昨年のような激しい降雪もなく、比較的穏やかな年の瀬を迎えています。

何かとお忙しいこの時期、どうか皆様方ご家族の方全てが、希望と夢に溢れた甲午（きのえうま）年を迎えられますことを心よりお祈り申し上げます。